

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

くればす

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>			設置基準より広く確保している。
	②	職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>			適切に配置している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		<input type="radio"/>		床などの平面化は図っているが、手すりの配置や通路の狭さに課題がある。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	<input type="radio"/>			朝と帰りのミーティングで、職員の意見を出し合い共通の目標として設定し、改善につなげている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<input type="radio"/>			個別面談、送迎時面談を通じ、意見や要望をくみ上げ改善に努めているが、今後さらに把握に努める。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	<input type="radio"/>			ホームページや会報に掲載予定。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			<input type="radio"/>	第三者者評価は行っていない。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>			所内研修や外部の研修に積極的に参加できるように、参加費や勤務の配慮をしている。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>			児童の状況や保護者の意見・要望を踏まえてサービス計画を作成するようにしているが、よりサービス計画に反映できるように努める。
適切な 支援の 提供	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		<input type="radio"/>		独自のアセスメント票を使っており、児童の状態の把握に努めている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	<input type="radio"/>			職員全員が関わっていけるように工夫している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	<input type="radio"/>			プログラムの評価や効率などを検討しながら、効果的なものになるように工夫している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	<input type="radio"/>			子どもたちが意欲的に取り組めるように工夫しているが、平日高学年は学校の関係もあり、安易な活動になる傾向有
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>			自由に活動を選んでもできる時間と、集団とする活動を織り交ぜて工夫しているが、職員配置の関係で個別が十分でないことがある。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	<input type="radio"/>			朝と帰りのミーティングを実施し、確認事項や情報の共有を図っている。朝は全体ミーティング後に事業所ごとのミーティングをしている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	<input type="radio"/>			
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	<input type="radio"/>			記録の取り方の研修 時間に追われることはあるが、できるだけ早期に記録することを目指している。

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		2か月に一度はモニタリングを実施し、計画に生かしている。	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○		基本的な生活習慣や創造性、社会性が獲得できるように工夫して支援している。	
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		参加している。	
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		できるだけ学校とは情報共有できるように、送迎時に児童の状況について情報交換し、必要のある児童については授業参観や会議をしている。	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			該当児童がいいため準備がない。	
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		必要のあるケースについては積極的に情報交換している。	
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			該当ケースがない。	
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		関わりのあるケースについては、連携し、助言を受けるようにしている。	
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	地域の行事やNPO団体の行事に積極的に参加するようにしているが、放課後クラブなどとの交流はない。	
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○		参加している。	
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		送迎時に伝えるようにしている。また個別面談を実施するようにしている。	
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	積極的に相談に乗るようにしているが、ペア・トレのような支援はしていない。	
	保護者への説明責任等	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		行っている。
		㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		子育ての悩みが出しやすいように関係を作り、積極的に相談に乗るようにしている。
		㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	保護者参加の行事を取り組み交流を図るようにしているが、コロナ禍の中で制限があった。

	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			その日のうちに話し合いを持ち、誠意をもって迅速に対応するように心がけている。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			できるだけ発行するようにしている。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	○			十分注意している
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			対応に注意し、職員本位にならないように注意している。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			行事参加や地域の人たちと「子どもを守る会」を作り、助成金で、だれでも参加できる行事や催しを行っている。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		マニュアルは作成しているが、まだ周知が十分でない。いろいろな機会を通じ周知を図る。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年2回の避難訓練及び学習を行っているが、定期的に計画している。
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			学習を徹底している。
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			身体拘束の必要な児童はいないが、保護者には契約の段階でしっかり説明し、職員にも徹底している。
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			医師の指示が必要な重篤な児童はいないため、家族の方の情報により対応している。
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			作成し活用している。

保護者の意見・要望を踏まえ、職員の事業所たいする自己評価をもとに、協議検討をし以下のことを決定した。

昨年度の取り組み 児童の状況に応じた取り組みや、保護者に対しての丁寧な対応などさらに前進したが、第三者委員会についての取り組みが進んでいない。  
また学童クラブとの連携を進めようとしているが、学童クラブがその状況にない。

重要課題 ① 第三者委員会の評価  
② 学童クラブとの連携、または法人での設立

改善計画 ① 第三者委員会を設置し、外部評価を実施する  
② 自立支援協議会を通じ、連携の下地を作る。また行政や教育委員会への働きかけを進め、民間学童の設立を検討する。

その他の課題は、改善目標欄に記載の通り。